

1 単元名 表現運動 「発見！不思議なマクフジ島のヒミツ！」

2 運動の特性

(1) 一般的特性

いろいろなイメージを思いつくままに踊ったり、表したいイメージをひと流れの動きで自由に表現することが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 ～省略～

3 仮説と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようねらいや道すじ（内容）・活動を工夫する。

<手立て>

○即興表現、「はじめとおわり」を付けた動きの楽しさをじっくりと感じて学習する道すじ

昨年度は、スパイラル型の学習を行い、イメージカルタを基に即興表現し、ひと流れの動き作りを行った。この学習を通して子どもたちは、即興表現の楽しさに浸ることができた。どんな動きをしたいかという質問には「昨年度のカルタの中で気に入ったイメージを踊りたい」と願う子どももいた。そのためスパイラル型よりも、ステージ型の道すじの方がよりイメージを深めたいという子どもたちの想いに応えていけると考えた。

ねらい①では、いろいろなイメージカルタに取り組み、その特徴的な場面や動きを即興表現し、ひと流れの動き作りをしていく。個人で活動することで表現を楽しめなかったり、発表をすることが恥ずかしいと思ったりしている子どももいるので、イメージカルタには2人組で取り組んでいく。相手とかかわりながら一緒に踊ることで、相手のよい動きに触れたり、2人で対応する動きをしたりして楽しんでいけると考えた。さらに、2人組同士で気に入った動きを見せ合ったり、アドバイスをし合ったりすることで新たな動きに気付き、生かしていくことができるだろう。じっくりとイメージカルタに取り組み、毎時間、少人数での見せ合いを続けることで、動きの財産も増え、発表に対する抵抗も少しずつ軽減されていくことが考えられる。

ねらい②では、じっくり取り組んだ即興表現の中から、お気に入りの動きをグループで工夫しながら踊っていく楽しさを存分に感じさせていく。自分が気に入った動きをさらに深めるために、イメージ別のグループを作り、一番表したい場面の様子が表れるよう「はじめとおわり」をつけて踊る。自分の一番表したいイメージをねらい②で繰り返し踊る中で、そのイメージの特徴や様子が友だちに伝わるように動きを工夫させていきたい。また、毎回見せ合うグループを変えることで、新たな動きに触れたり、違う子どもの視点からのアドバイスを聞いたりしながら、より気持ちのこもった動きへとつなげていきたい。緊張して恥ずかしくなってしまう子どもの心と体を開放するために、ねらい②でも、イメージカルタに十分に組み込ませたい。そこで、即興表現のおもしろさや、友達と一緒に心を開放する心地良さを味わわせていきたい。恥ずかしさを感じている子の緊張を和らげるためにも、友達の動きのまねをすることも認め、教師も一緒になって楽

しんで表現活動をし、盛り上げていきたい。また、どんな動きをしてもよいことを伝え、少しでも動けるようになった子や新しい動きをしている子を称賛し、動きの幅を広げていきたい。オリエンテーションでは、表現をするときのきまりとして「絶対に友達のを笑わないこと」を十分に理解させ、お互いの動きを認めてみんなが楽しく活動できる雰囲気を作っていきたい。

○心と体を開放するダンスウォーミングアップ

毎時間ダンスウォーミングアップに取り組み、心と体を開放し、楽しく学習できるようにしていく。なかには、表現を行うことを恥ずかしいと感じている子どもが5名いるので、クラスみんな楽しく体を動かすことで、心と体が開放され、進んで体を動かしていけるだろう考える。

表現活動をしているときには、友達の動きを見て笑ったり、動きの工夫やまねをしていることなどを否定したりしないことを学級の約束として十分に理解させ、子どもが進んでいろいろな動きを行えるような雰囲気作りを考えていきたい。

子どもの中には表現することが苦手と思っている子もいる。表現のヒントにするためにも、友達と違ったよい動きをしている子どもを取り上げ、賞賛し、全体で共有したり、実際にまねをしたりし、様々な動きを体感させることで、子どもが自信をもって動いていくための財産につなげていきたい。

○題材の工夫

本学級には、動物の動きをしてみたいと考えている子どもが多い。しかし、動物といっても、トラやウサギといったものからサメやトビウオといった海の生き物まで幅が広い。他にも風といった自然、ポップコーン・バナナといった食べ物などたくさんの思いがそれぞれに見られた。そこで、子どもの表現したい思いを形にできるものとして、題材に「発見！不思議なマクフジ島のヒミツ！！」とした。ありえないようなことが、実現されるであろうこの題材であれば、子どもの動きたい様子を表現できると考えた。しかし、「ジャングル探検」や「海中探検」というような、題材に比べ、具体的な場やイメージが想像しにくいので、イメージバスケットをつくっていくことで、より子どもがイメージしやすいように、全体でイメージの共有をしていく。それをもとに、動きを想像し表現をしていくことにも生かしていきたい。

ねらい①の即興表現の場では、イメージバスケットの中から子どもが想像した「不思議な島」のイメージをもとに、おもしろく表現しやすいものを選び、学級オリジナルカルタを製作して踊っていく。オリジナルのカルタを作っていくことで、抽象的な「不思議な島」という題材を、よりイメージしやすい形にして触れることができ、動きづくりに結びついていこうと考える。

視点2 一人一人のよさを伸ばすかわり合いを活性化するなど、学習に意欲的に取り組むための手立てを工夫する。

○ベストパフォーマンス（動きの宝箱）を決め、積み重ねていく

どんな動きをしたらよいかわからない子どものために、動きの参考になるように工夫された動きの「ベストパフォーマンス」を積み重ねて提示していく。ダンスウォーミングアップや即興表現を見合ったとき、イメージ別グループで動きの工夫をしているときなど、様々な活動の中で友達がよい動きをしていたものを、学習カードに振り返り、書きためていく。その動きをクラスみんなでも共有できるよう、模造紙にまとめていく。友達から選ばれることによって、恥ずかしさを忘れ、自信をもって活動していくことにもつながり、工夫した動きを進んで表現しようとする

んでいけるだとうと考える。しかし、逆に名前が出てこない「自分の動きはよくない。」と意欲の低下にもつながってしまうので、時にはイメージカルタの2人組での動きの見せ合いから選ぶなど、全員の動きが掲示されるよう配慮していく。友達からから見てもらい、よかったと言ってもらえることで、自己肯定感も高まり、表現をすることへの自信へとつながっていくだろうと考える。

4つのくずしを子どもたちが理解し、表現に生かしていきやすいように、わかりやすい言葉で提示していく。これを書き溜めていくことで、掲示を見た友達がよい動きがどのようなものなのかがイメージしやすくなるだろう。また、4つのくずしを意識することで、見合ったり、アドバイスをしたりするときの視点としても子どもたちに定着させることができると考えた。

「ベストパフォーマンス」は、学習の時間だけ掲示するのではなく、いつでも目に付き書き加えることができるよう普段から教室に掲示し、学習に生かしていけるよう活用していきたい。

○題材のイメージを捉えるための工夫

今回の表現の題材には「発見！不思議なマクフジ島のヒミツ！！」を行っていく。子どもの想像や思いを表現していけるようイメージバスケットに記していく。不思議な島という漠然としたイメージをより具体的に捉えられるよう、子どもの想像をまとめていき、実際の動きへとつなげていく。抽象的でわかりにくい題材でもあるので、想像できない子どもが参考にできるよう、学級全体で共通理解できるよう学級にも掲示し、普段から目にすることができ、書き込めるようにしていきたい。

イメージが広がっていくようイメージバスケットを、子どものイメージに合わせて進化させていく。初めは1枚の模造紙から、イメージバスケットをマクフジ島と見立て書き溜めていく。イメージを書かせていく中で、模造紙に入り切らないほど高い山が存在するときには、模造紙を張り合わせ、イメージを広げていく。宇宙とのつながりをイメージしたら、さらに張り合わせていくなど、子どもの思いを書き表すことができるように進化させていく。高さや大きさを視覚的にも捉えることで、表現をするときの動きに生かしていけると考えた。

イメージバスケットの中から題材に合ったわかりやすいものをイメージカルタの中に入れ、学級オリジナルのカルタを作っていく。自分の考えたイメージがカルタになり学習で活用されることで、さらなる意欲の向上にもつながると考える。また、子どものイメージの中に出てこなかった動きについては、小中体連表現専門部から出されているイメージカルタを使用し、動きの経験をさせていく。



4 学習のねらい

○表現に進んで取り組み、誰とでも仲良く練習や発表をすることができる。

【関心・意欲・態度】

○自分の能力に合った課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できる。

【思考・判断】

○表現の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり、動きの特徴を捉えたりして踊ることができる。

【技能】





5 評価規準（おおむね満足できる状況）

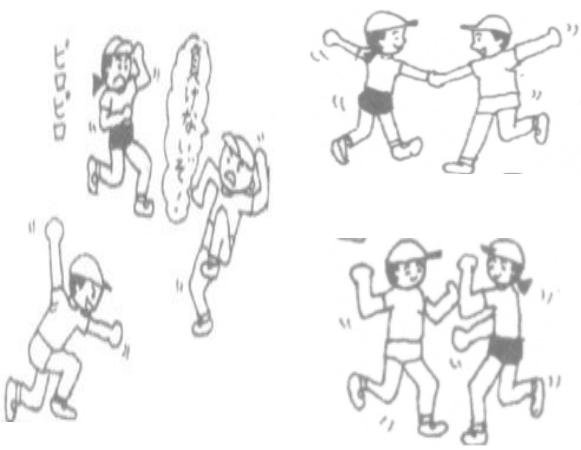
	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 表したい感じを表現したり、動きの特徴をとらえたりして、踊る楽しさや喜びに触れることができるよう表現運動に進んで取り組もうとしている。 運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとしている。 運動する場の安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の動きのポイントを知るとともに、自分にあった課題や題材をえらんでいる。 よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ることができる。
学習運動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①踊る楽しさや喜びに触れ、表現運動に進んで取り組もうとしている。 ②友達と協力し、励まし合いながら練習をしたり、発表や交流をしたりしようとしている。 ③学習のきまりを守り、友達同士で励まし合ったり、教え合ったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①表現の動きのポイントを知るとともに、自分に合っためあてをもっている。 ②よい動きを知るとともに、友達のよい動きやアドバイスを参考にし、自分の表現に取り入れて踊っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①イメージカルタをめくり、表現したいイメージの特徴を捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ②表したい感じを中心に特徴を捉え、はじめとおわりをつけた動きにして、感じを込めて踊ることができる。

6 学習の道すじ（本時6／7）

	1	2	3	4	5	6（本時）	7
0 ↓ 4 5	オリエンテーション ・学習のねらい ・安全やマナーについて ・イメージバスケット作り ・イメージカルタ作り ・学習カードの使い方	ダンスウォーミングアップ ねらい① カルタからイメージを広げて、思いつくままに踊って楽しむ。 ○2人組でカルタをめくり、思いつくままに自由に踊る。 ○楽しかった1枚を選び、4人組で見せ合って、動きの共有をしアドバイスをする。 ○アドバイスを参考に、工夫して踊る。 ○学習のまとめをする。					
		ねらい② 一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊って楽しむ。 ○イメージ別グループで表したい動きを強調できるように「はじめとおわり」をつけて踊る。 ○他のグループと見せ合い、アドバイスをを行い動きを深める。 ○学習のまとめをする					まとめ
関・意・態	①	②			①		①
思判		①		②		①	
技能			①	①	②		②

7 学習活動と支援

学習内容と活動	教師の支援・指導・評価
<p>は 【オリエンテーション】</p> <p>じ ○学習のねらいと道すじを知り、学習の進め方に見通しをもつ。</p> <p>め ○学習の約束を決め、安全やマナーについて知る。</p> <p>○イメージバスケットを作る。</p> <p>○イメージカルタを作る。</p> <p>○学習カードの使い方を理解する。</p>	
<p>な 1 ダンスウォーミングアップを行う。</p> <p>か ○ダンスウォーミングアップの例</p> <p>① ・体でジャンケン</p>  <p>・だるまさんがころんだダンス</p>  <p>・サバイバルダンス</p>  <p>2 本時のめあてと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○心と体を開放するために、友達とかかわり合いながら楽しい雰囲気を作るウォーミングアップを行う。</p> <p>○心と体を開放するために、気持ちを高められるようなリズムカルな曲を流す。</p> <p>○体を動かしていない子どもには、教師も一緒に体を動かし、友達や教師の真似をするよう声をかける。</p> <p>◇踊る楽しさや喜びに触れ、表現運動に進んで取り組もうとしている。 【関・意・態①】</p>
<p>ねらい①カルタからイメージを広げて、思いつくままに踊って楽しむ。</p>	
<p>3 2人組でカルタをめくりながら、自由に踊って楽しむ。</p> <p>・カルタをめくったら、イメージを思いつくままに踊って楽しむ。</p> 	<p>○4つのくずしや、ベストパフォーマンスの動きを意識して活動できるよう、掲示物を使い、助言する。</p> <p>○カルタをめくったら、すぐに動き出すよう声をかけ、どんな動きでも認めていく。</p> <p>○気持ちが途切れないよう、移動する時にもイメージのまま次のカードに移動できるよう、一緒に動きながら声をかける。</p> <p>○恥ずかしくて動けない子どもには、ペアの友達の真似をするよう助言したり、教師が寄り添い一緒に踊ったりする。</p> <p>◇イメージカルタをめくり、表現したいイメージの特徴を捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 【技能①】</p> <p>◇学習のきまりを守り、友達同士で励まし合ったり、教え合ったりしようとしている。 【関・意・態③】</p>

<p>4 一番気に入ったイメージを選び、ペアで見せ合い、よい動きを見つけ教え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おへそがいろいろな高さにあっているね。 ・スピードを変えているのがいいね。 ・ぎりぎりまで広がっているのがいいね。 <p>5 2人組+2人組の4人組になり、アドバイスを基にカルタをめくり、思いつくままに踊る。</p> <p>6 アドバイスを参考にして、見せ合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人組で。 ・クラスを2つに分けて。 <p>7 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想とベストパフォーマンスを書く。 ・よい動きをしていた子を紹介する。 	<p>○選んだカルタの特徴を強調して踊り、ひと流れの動きになるよう助言する。</p> <p>◇表現の動きのポイントを知るとともに、自分に合っためあてをもっている。 【思考・判断①】</p> <p>○お互いのよい動きを見つけ、相手に伝えられるよう助言する。</p> <p>◇友達と協力し、励まし合いながら練習をしたり発表や交流をしたりしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関・意・態②】</p> <p>○お互いの表現を見て、友達のアドバイスを聞いて参考にするよう助言する。</p> <p>◇よい動きを知るとともに、友達のよい動きやアドバイスを参考にし、自分の表現に取り入れて踊っている。 【思考・判断②】</p> <p>○子どもの発表からよい動きを見つけさせたり、賞賛したりして、みんなでまねをすることで、よい動きを共有する。</p> <p>○活動を振り返り、よかったところや次の時間にやってみたい、まねしてみたいこと、友達のよかったところについて記入するよう声をかける。</p> <p>○ベストパフォーマンスの発表をして、全体で工夫していた動きを確認し、共有させていく。</p>
<p>な か ②</p> <p>1 ダンスウォーミングアップを行う。</p> <p>○ダンスウォーミングアップの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙に変身 ・風船に変身 <p>2 本時のめあてと学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ねらい②一番表したいイメージが強まるように、動きを工夫して踊って楽しむ。</p> </div> <p>3 一番表したい動きを強調できるように「はじめとおわり」をつけて踊る。</p> 	<p>○心と体を開放させるよう楽しい雰囲気を作り、スムーズに表現運動に取り組めるようにする。</p> <p>○カルタをヒントにして、1番表したいイメージを中心として「はじめとおわり」をつけていくよう指導する。</p> <p>◇表現の動きのポイントを知るとともに、自分に合っためあてをもっている。 【思考・判断①】</p> <p>○表したいイメージを強調するために、ベストパフォーマンスの動きを参考にするよう声をかける。</p> <p>○よい動きをしている子どもを称賛し、グループでも生かしていけるよう助言する。</p> <p>○「はじめとおわり」をつけ、一番表したい動きをはっきりさせ大きくするよう指導する。</p>

	<p>4 他のグループと、見せ合いを行い、よいところをほめたりアドバイスをしたりする。</p> <p>5 アドバイスを生かして、踊りこむ。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想とベストパフォーマンスを書く。 ・よい動きをしていたグループを紹介する。 	<p>◇表したい感じを中心に特徴を捉え、「はじめとおわり」をつけた動きにして、感じを込めて踊ることができる。 【技能②】</p> <p>○互いにアドバイスし合ったり、よい動きを認め合ったりしている子を称賛し学習への意欲を高める。</p> <p>◇学習のきまりを守り、友達同士で励まし合ったり、教え合ったりしようとしている。 【関・意・態③】</p> <p>○4つのくずしを意識することや表したいイメージを強調するよう声をかける。</p> <p>◇よい動きを知るとともに、友達のよい動きやアドバイスを参考にし、自分の表現に取り入れて踊っている。 【思考・判断②】</p> <p>○自分の活動を振り返り、よかったところや次の時間にやってみたいことを書くよう伝え、次時への見通しをもたせる。</p> <p>○学習の感想を交流し、動きがよくなったグループを紹介することで、ここの自信を高めるとともによい動きを全体で共有する。</p>
ま と め	<p>○学習の振り返りをしてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現運動に進んで取り組み、踊る楽しさに浸ることができたか。 ・友達と協力して練習をしたり、励まし合ったりしながら発表することができたか。 ・学習のきまりを守り、友達と楽しく活動することができたか。 ・よい動きに気付き、自分の踊りに生かすことができたか。 ・めくったカルタのイメージをすぐに踊りにつなげることができたか。 ・表したい動きにはじめとおわりをつけ、踊ることができたか。 	